

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成29年1月17日(火) 午後7時00分から午後9時00分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	荒木仁子委員、大久保吉志委員、荻原優子委員、佐藤政彦委員、関千恵子委員、高寺由美子委員、竹村尚美委員、土屋實委員、長崎理恵子委員、藤澤累美子委員、本田寿子委員、松本規男委員、丸山恵子委員、宮下俊哉委員、宮島国彦委員、若林正徳委員 【欠席委員】4名
5	市側出席者	岩倉センター長、山宮地域振興課長、大塚市民サービス課長、塚田産業観光課長、大熊建設課長、矢嶋上下水道課長、清水教育事務所長、柳沢真田消防署長、伊藤主査、春原主任
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年2月15日
協 議 事 項 等		
1	開 会	(宮島副会長)
2	会長あいさつ	(宮下会長) 本年もよろしくお願ひします。大雪の除雪等でお疲れのところお集まりいただきありがとうございます。インフルエンザ等も流行ってきておりますので、お体を御自愛いただきしたいと思います。また、わがまち魅力アップ応援事業の受付も始まります。委員の皆様からも、各団体へお声掛けいただきまして、真田地域のために、住民が主体となって活動していけるような団体が出てくればと思っております。
3	センター長あいさつ	(岩倉センター長) 昨年、大河ドラマ真田丸では、本当にお世話になりました。この地が真田氏の発祥の郷であることが、全国に知れ渡り、多くの観光客の皆様にお越しいただきました。新聞にも掲載されておりましたが、市内の関係施設で、多くのお客様がお越しになったと載っております。大河ドラマ館では103万5千人余りが訪れ、いままでのドラマ館の中では過去最高となり、金字塔を打ち立てたということでございます。真田氏歴史館においては、4月～12月まで12万6千人、ゆきむら夢工房は10万8千人であり、いずれも前年度比で2倍強となっております。大変な賑わいとなりました。今後も引き続きまして、出来る範囲でのおもてなしに御協力くださいますようお願い申し上げます。また、今年は酉年でございますので、真田地域がさらに住みよい地域として飛躍しますよう、皆様方の御協議をよろしくお願ひしたいと思います。
4	委員の交代について	(宮島副会長) ～事務局から説明～ 真田地区民生児童委員協議会からの推薦で、新たに、関千恵子委員さんが地域協議会委員として御就任いただくこととなりましたので、御報告申し上げます。 (関委員) 曲尾の民生児童委員をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。
5	協議事項	(宮下会長) (1) 前回決定事項確認 ～事務局から説明～ 【質疑・意見等】 ・なし

(2) 分科会協議

(事務局) 関委員の分科会の所属先ですが、第3分科会に所属していただきます。また、第3分科会の副会分科会長については、前回の分科会協議で荒木委員が選出されたということでございます。

～荒木委員よりあいさつ～

(荒木委員) 地域協議会委員になりまして2年になろうとしております。皆さんのいろいろな意見やお話を伺い、未知さを知りました。これから、皆さんの活発な意見を参考にして、頑張らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(会長) それではこれより分科会協議に入りますが、全体会の途中で分科会協議の時間を設けます。8時45分頃を目途にもう一度この場にお集まりいただき、それぞれの分科会でどのような協議がされたのか、報告をいただく時間を設けます。分科会協議の前に「6 その他」を先に進めさせていただきます。

6 その他 (宮島副会長)

(1) 次回協議会開催日時の確認

今回は、平成29年2月14日(火)午後7時からとなります。

(2) その他

- ・事務局から配布資料について説明

～分科会協議 午後8時45分まで～

7 各分科会から協議状況の報告 (宮島副会長)

(第1分科会) 地域コミュニティづくりと地域の連携について話し合いを行いました。地域にはそれぞれコミュニティができていますが、連携が取れていないので、それを解消するには、自治センター周辺の老人センターなどに集える場所があるといいのではないかという意見が出ました。例えば、お孫さんを見てくれる方なども、気軽に立ち寄ってお茶を飲めるような場所などです。真田町には、いろいろ教えてくれる人もたくさんいますし、逆に教えてもらいたい人もいると思うので、そういうところを生かせればと思います。

(第2分科会) 公共交通機関の存続と今後の在り方ということで協議をさせていただきました。路線バスが存続できなかった時に、慌てないように、いまから検討していく必要があるという意見がでました。ふれあいさなだ館のワンボックスが利用できたという話や、路線バスでは高齢者の利用が難しいので検討していく必要があるという意見が出ました。バス停のターミナル化などの検討も必要ではないか、また、アンケートを全戸に配布し住民の意見を聞いたかどうかという話が出ました。

(第3分科会) 真田丸のその後ということで、どうやったら真田の魅力を発信できるかについて話し合いました。食という部分が重要ということで、農業で成功を収めている方を次回の分科会でお呼びして、苦労点や着眼点などのお話をお聞きしたいという話になりました。都合がつけば農家の方にお越しいただき、話をお聞きしたいと思います。

8 閉会 (宮島副会長)